

「福島の復興は新たな産業創生から」

第 25 回「福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考える WS」

株式会社新福島産業創生プロデュースでは、『福島の復興を考える会』として過去 24 回ワークショップを開催しています。「新しい東北」官民連携推進協議会の連携セミナー制度を活用して開催した前回の取組では、震災時の ICT（情報・通信に関する技術の総称）の仕組みや構築を知り、過去の実例を基にした防災構想と通信技術の利活用を学びました。

本取組では連携セミナー制度による支援のもと、前取組で検討された防災・減災に対する ICT の可能性を元に、実際に導入を迫られている医療現場の皆様と震災発生後に想定される対応について議論し、より実現性のある ICT 導入を考えたいと思います。

概要は添付資料をご参照ください。

【本件に関する報道関係の問合せ先】
株式会社新福島産業創生プロデュース 担当 高橋
TEL：024-546-1204
HP：<http://sosei-pro.com/>

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

復興庁『新しい東北』連携セミナー制度活用

～～ フォーラム開催のご案内 ～～

主催 << 福島復興を考える会 >>

事務局 株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFICP)

主題 『福島復興は新たな産業創生から』

フォーラムテーマ 副題：『防災×医療×ICT＝復興産業創生その2』

『福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考えるWS』

第25回WS：2018年 1月16日（火）

前回2017年11月27日に開催させていただいた副題：『防災×医療×ICT＝復興産業創生その1』をより一歩前進すべく、具体的なエリア&ターゲットを設定し課題と解決手法を討議する場として、フォーラム『その2』を開催させていただきます。

第2回目の今回は、自由討議を中心に『防災×医療×ICT＝復興産業創生』に向かう課題・問題点に焦点を当て解決策を討議すると共に、防災・医療だけではなく、様々な分野への可能性に焦点を当てた議論から次世代に繋がるイノベーションを探る目的といたします。

今回も復興庁「新しい東北」連携セミナー制度を活用させていただくことになりました。幅広い各方面からのご参加、お待ち申し上げます。

◆「第25回 福島から発信する防災知見と
防災・減災の可能性を考えるWS」

副題：『防災×医療×ICT＝復興産業創生その2』

日時：2018年 1月16日（火）13:15～17:00（受付13:00）

場所：“コラッセふくしま”5F特別会議室

* 福島県福島市三河南町1-20（福島駅西口）

D・M：“コラッセふくしま”12F“きいちご”

* ワークショップ終了後 18:00～20:00

復興庁：本フォーラムは、「新しい東北」官民連携推進協議会 連携事業として実施

http://www.newtohoku.org/resource/1473999471000/works_renkei/doc2.pdf

◇ **WS開催協力費**：* **ワークショップ開催協力費**：5,000円

* **ディナー・ミーティング参加費**：5,000円

**（消費税込み、事務局名にて領収書を発行いたします。）

◇ **一般聴講参加者** 自由参加

：* 復興庁『新しい東北』連携セミナー制度活用により：無料

議事次第

- ・ 開会挨拶 13:15~13:20 : (株)新福島産業創生プロデュース 代表取締役 高橋 淑彦様

第一部 13:20~15:00

- ・ 司会進行/ファシリテータ
13:20~13:35 状況説明
:NTTコミュニケーションズ(株) マネジメントサービス部担当部長 山内 一郎様
- ・ 地元課題及び質問の提起 :各10~15分
講師(1) : 福島県立医科大学災害医療部部長、ふたば救急総合医療支援センター教授 島田 二郎様
講師(2) : 済生会川俣病院 事務部長 阿部 義宏様
講師(3) : 済生会川俣病院 医事課 診療情報管理士 佐藤 怜様
- ・ パネリスト
講師(4) : 高知医療センター医療情報センター情報システム室 医療情報技師 北村 和之様
講師(5) : 高知工科大学 情報学群教授 情報センター長 福本 昌弘様
講師(6) : 一般社団法人 九州テレコム振興センター 専務理事 広岡 淳二様
講師(7) : 国立研究開発法人 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター
テストベッド連携企画室 鷹取 耕治様
講師(8) : 同 上 吉田 一志様

- ・ 15:00~15:20 : 休憩

第二部 15:20~16:55

- ・ 司会進行/ファシリテータ
- ・ 冒頭講演 1)「防災・減災に対する ICT の可能性」
: NTTコミュニケーションズ株式会社 マネジメントサービス部担当部長 山内 一郎様
- ・ 冒頭講演 2)「(株)ミライトテクノロジーズの福島復興への取り組み」
講師(9) : (株)ミライト・テクノロジーズ ソリューション事業本部担当部長 佐藤 雄彦様
- ・ 地元課題及び質問の提起
講師(10) : 公益財団法人 福島相双復興推進機構福島相双復興官民合同チーム長 田岡 宗治様
: 参加者及びオブザーバー及び一般聴講者
- ・ パネリスト(同 上)
講師(1) : 福島県立医科大学災害医療部部長 ふたば救急総合医療支援センター教授 島田 二郎様
講師(2) : 済生会川俣病院 事務部長 阿部 義宏様
講師(4) : 高知医療センター医療情報センター情報システム室 医療情報技師 北村 和之様
講師(5) : 高知工科大学 情報学群教授 情報センター長 福本 昌弘様
講師(6) : 一般社団法人 九州テレコム振興センター 専務理事 広岡 淳二様
講師(7) : 国立研究開発法人 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター
テストベッド連携企画室 鷹取 耕治様
講師(8) : 同 上 吉田 一志様

- ・ 開会挨拶 16:55~17:00 : 株式会社新福島産業創生プロデュース代表取締役 高橋 淑彦様

【 終了後 ディナーミーティング 】 18:00~

主 催 『福島の復興を考える会』

運営事務局



株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFI CP) 高橋

New fukushima industry creation produce

〒 960-

1101 福島県福島市大森字西ノ内75-5 H P: <http://sosei-pro.com>

■ Tel: 024-546-1204 / Fax: 050-3730-4968 / 携 帯: 090-8256-5803

■ メール: time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp

◇ 前回、特別会議室での討議の様子

◇ ディナーミーティング 18:00～

・ 過去23回、多くの連携事業がこのミーティングから生まれています、ご活用ください。



☆

申し込

みは F A X =

050-3730-4968

又は、メール（返信・time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp）にてお願いいたします。

☆

申し込みは、下記申込書に記入するか 同内容をFax・メール記載にて返信ください。

株式会社 新福島産業創生プロデュース(NFI CP)宛

ワークショップ参加申込書

◇ 第25回 2018年1月16日（火）

◆ 第25回「福島から発信する防災知見と防災・減災の可能性を考えるWS」

副 題:『防災×医療×ICT=復興産業創生その2』

Fax送信: 050-3730-4968 ・ メール: time.lag-takahashi@s6.dion.ne.jp

参加希望 所属 _____ 名前 _____

所属 _____ 名前 _____

■ ワークショップ 参加

■ ディナー・ミーティング 参加